

熊本地震災害ボランティア活動報告

2016年4月22日

本日は熊本へ支援物資を運びました。昨日リクエストがあった品物を買そろえ、とりあえずリュックに詰めれる分詰めて、コストコの大きな食品バックにも詰め込み電車で大牟田まで行きました。風雨が強く苦戦しましたが、全然苦になりませんでした。

自分自身も被災して大変な状況なのに長尾君(ロサンゼルス新撰組 OB)が大牟田まで迎えに来てくれました。買い残しの品や水を車に乗せれる分買い足し、高速道路を使わずに山鹿市―菊池市―合志市のルートを通り約2時間で着くことができました。とてもスムーズでした。

熊本市内は風雨がひどく、屋根を覆っているブルーシートが悲しげにバタついていました。

本で行った場所は東区戸島西にある COMMUNE6(ロサンゼルス新撰組 OB の安藤君がオーナーのカフェ)です。この店も被災し、カフェとして重要なおいしいコーヒーを提供するための機材が破損し、本来とても大変中、被災し心が折れつらい思いをされている近所の皆様の語らいの場になるよう無料でなく1円でコーヒーを提供しています。

今回、このカフェをベース基地にして、リクエストされた品物を amazon や支援スタッフが買い集め、近くの人にはコーヒーを飲みがてら取りに来ていただき、遠くの人へは長尾君を中心に一件一件届けています。

リクエストに関してはフェイスブックで COMMUNE6 を検索していただき、リクエストを出していただく仕組みです。

我々がお邪魔したときは被災し疲れたご様子の方がお見えになっていましたが、安藤君の入れるおいしいコーヒーと、彼の人柄で励まされ、帰るとき皆さん笑顔でした。

我々が届けたコストコのマフィンやクロワッサン、チョコレートなども食べていただき、帰るとき笑顔で「オジサンありがとう!」と言っていただきました。

このエリアは建物の大きな崩壊はありませんでしたが、長く続く地震で多くの方がかなりお疲れで、我々のスタッフとして今日も参加していただいた新撰組同志会の下城さんは自分が経営されている会社も自宅も地震でいろいろなものが散らばり、片付けてもまた大きな地震でバラバラになり、体を痛めておられました。社員が被災し休まれるため仕事も動かず大変と仰っていましたが、今回の活動に積極的に参加していただき今後もお手伝いいただけるとのことで、感謝です。

帰りまたリクエストがあり大牟田市まで戻りそこでリクエストがあった新鮮なフルーツやパンを買い求め、長尾君はまたそれをもってかえり、配ってくれました。本当にお疲れ様です。

写真は COMMUNE6 のオーナー安藤栄さん親子と、届けたときの支援物資と夕方にはのこり少なくなった物資の写真です。

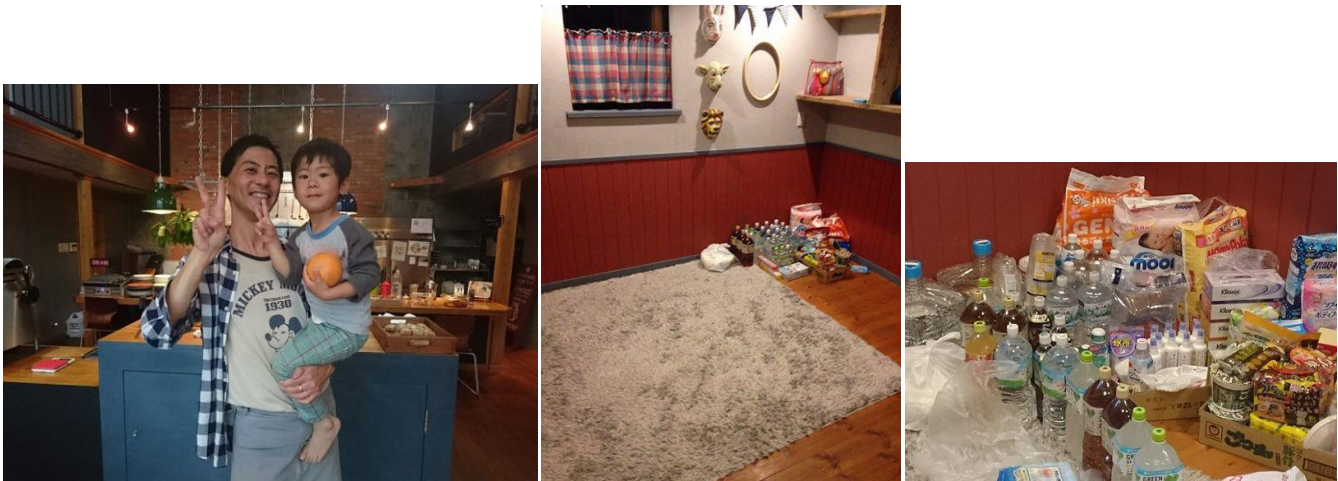
今回、新撰組同志会に設立されている新撰組まごころ募金から支援金を預かり運営資金として利用させていただいています。まごころ募金はロサンゼルス新撰組局長重田光康氏が日本国内で講演されたときの講演料をプールされていた資金と皆様からの募金から成り立っています。今後とも多くの皆様からのご支援を賜りたくよろしく願い申し上げます。

募金先は

新撰組同志会まごころ募金 : ゆうちょ銀行、店名〇一八

店番: 018、普通口座: 4007343

口座名義: 新撰組同志会まごころ募金



2016年4月22日

新撰組同志会 まごころ募金

4月22日活動報告

COMMUNE 6 への来客16名でした。来客された皆様は一息つかれたご様子です。

支援物資配達班はロサンゼルス新撰組オレンジ郡 Fountain Valley 店店長の橋本ゆうすけ君の実家を訪問し、ご両親へフルーツなどの食料品をお届けしました。(写真はご両親です)

その他、救援物資の依頼があった数件に夜10時ころまで活動を続けました。

壊れた家の写真はオレンジ郡 Fountain Valley 店でアルバイトをしていた人のおばあちゃんの家だそうです。

その他、熊本市南区にある幸田保育園の園長先生から救援物資の依頼がありましたが、量的に我々のほうで今日中の対応できなかったため、同志会メンバーの関口雅代さんを通し、災害支援グループ「水俣 Hub-Power」の諸橋さんに相談したところ、快諾いただき素早い行動力に対応していただきました。物資がすぐ届き保育園の園長先生がとても喜んでおられました感謝します。

昨日の募金のお願いに対しまして早速、ロサンゼルス新撰組局長はじめ沢山の方々から入金していただき感謝申し上げます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



4月23日活動報告

COMMUNE 6 へのお客さんは24名でした。

明日はカフェ閉店です。

安藤君は自分の店の大切な設備が破損し、先がとても不安なはずですが、被災状況のひどい益城方面へ調査に行きます。来週末、炊き出し等ができる場所や支援依頼があったエリアへ行きニーズを調べて来るそうです。

今回の活動に当たって、熊本まごころ同志会(支援隊)で活動します。

支援物資を届ける班は支援を求めておられる方々の調査と活動を共にして下さる方との打ち合わせなどをしました。LINEで熊本まごころ同志会のグループを作り意見交換しています。

その中で、先の生活に対する不安、家が壊れた方が被災者の親戚に身を寄せている現状、など話題になりました。その救済に対する行政の制度などご存知の方がおられましたら、お知らせください!

また、個人的な依頼として上益城郡益城町のお年寄りから、自衛隊からおにぎりの配給が毎日あるが水道が使えず、暖かいものが欲しいとのこと。近くに店もなく、道路も悪いので買い物にも行けずに10日間冷たいおにぎりばかりだそうです。熊本の人を「肥後もっこす」と表現することがありますが、頑固で自分から弱音を吐かないような気質の人です。このような人が口に出すとは、本当につらい思いをされているのだと思います。

25日曜日は局長のお兄さんから水1500本が届くそうです。感謝

身近な問題から長期的な復興の手助けなど、これから長い支援が必要です。

4月24日の活動報告

本日 COMMUNE 6 は閉店でした。

<安藤君からの報告>

「午前中、店舗が倒壊し、自分のお店が無くなった美容師の友達の手伝いに行って来ました。

連絡いただいた水俣の諸橋さんとお会いでき今後のお互いの協力体制を確認できました。

市職員の栗永さんとお話し、ブルーシートと毛布をリクエストもらいましたので書き込んでいます。できるだけ早く欲しいとの事でした。西本さんご夫婦ともお会いして話した結果、益城町のましき野 自治会長を紹介していただき、毎週土曜日の夜に夏祭りのような夜市をして、老若男女、子供が集い楽しめる娯楽あり、炊き出しありのお祭を継続的にやっていく事にしました！西本さんには足りない物資をちよくちよくこちらで調達して運ぶ様にします。近くなんで僕が動きます。益城町はこことはうって変わってまだ酷い被害がそのままになっていて、まだまだ細かいことで困っている方が沢山いると感じました。一部ですが写真を撮ってきたので送ります。」

今回訪問の場所は安藤君の報告にあるようにまだ酷い被害がそのままになっている所です。ほとんどの家屋が壊れ、狭い場所で夜を過ごされています。食事も自衛隊から届けられるおにぎりで10日間過ごされています。

避難所へ行けない家を戸別訪問すればするほど、支援物資が届いて無いようです。

今回知り合いからの依頼で戸別訪問をしてもらいましたが、我々のベース基地に支援物資のストックが無く水俣 Hub-Power の諸橋さんにご相談したところ先日同様快諾いただき、物資を届けていただき、我々のメンバー安藤君との接点ができました。重ねがさね感謝します。

福岡班は依頼があったテント、毛布、マット、缶詰、フルーツ、菓子などの買い出しへ行きましたが、テントなど値が張るものもあり、出費の額が大きくなりつつます。

しかしテントに関しては来週長崎県波佐見町の方がハウステンボスで使われていたものを大量に運ぶそうです。これからまだまだ、支援を必要とされている方々いらっしゃいます。

明日は大量の水が届きます。



4月25日活動報告

昨日リクエストがあった支援物資を福岡から運びました。地域経済支援も支援活動の一つと考え、できるだけ熊本県の店で物を買うように心がけ、高速道路は菊水インターで降り、山鹿市にある複数の店で支援物資の数点を購入しました。あまり大きな渋滞もなくスムーズに着きました。帰りは植木インターから戻りましたが、この区間もほとんど渋滞なしでした。(時間帯もありますが)

COMMUNE 6 来客数 13 名。コーヒー代金 1 円へのサービスをしていますが、カフェオーナー安藤君の人徳で、仲間からのおいしい和菓子の差し入れ。これをお客さんへサービスで出していました。私が訪問したとき、来ていた人は若いながら各種業種の事業主の男女 3 名でしたが、経営していた店が被災し、これから先のことをお互いに話をされていました。先を考えると本当に大変だと思います。でも、一人で考え込まず、このカフェで、これから先をみんなで考え実行していけば、きっとうまくいくと思います。

お子さん連れのお母さんも見えていましたが、お子さんたちも遊べる空間があり、お母さんの息抜き場所です。

安藤君は 5 時以降、昨日ご報告した写真にあるように全壊した家屋が並び、やっと通信もつながり水もまだ出ない地域へ、我々が運び込んだ支援物資を届けてくれました。

さらに、現地で新たな依頼品をホームセンターで買い揃え夜遅くまで配っていただきました。本当にお疲れ様です。

写真は上益城郡益城町上棟と益城町辻の城のご家族です。

また、長尾君も熊本市内を回り支援物資を届けて回ってくれました。市内は渋滞がひどく動き回るのは体力を使います。明日以降大量の水を運搬しますが、本当にお疲れ様です。

支援物資の内容が、変わっています。今日も長靴、カッパ、ガスコンロ、テント、ブルーシート、毛布、缶詰、フルーツなどです。ブルーシートは屋根用(40 畳用)と敷物用まだまだ足りません。

今後、再建に向かい、大工道具的なものが求められるのかもしれませんが。企業へも寄付依頼中です。

食べ物も野菜や缶詰、肉、フルーツ、甘い物が食べれたら有りがたいと遠慮がちに依頼されますが 10 日間もおにぎりだけの生活、ほしくなるのは当たり前ですね。まだまだ、支援が必要です。なにとぞ皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。



4月26日 活動報告

写真は我々のベースキャンプ COMMUNE6 と近所のお宅

本日 COMMUNE 6 の来店者数は 13 名でした。ブルーシートのニーズが多く、行政から支給されるかもしれないと思い、調べたら県の窓口で支給されることが分かりました。

安藤君の方からすぐ問い合わせしてくれましたが、在庫が無く時間がかかるとの報告を受けました。それで、建設会社に勤める親戚に相談したら、サイズは小さめですが至急送ってくれることになりました。

熊本市は支援物資の受付を中止したとのことですが、多くの自治体からは、まだ送られてきそうです。全国の皆様の善意が無駄になるのは、なんとも悲しい限りです。

方や、益城町のはずれにある集落は物資が届いて無く我慢されていました。

我々がお届けした物資は満足のいくものではないと思います。まだまだ、ほしい人はいるはず。ボランティアの方々に協力を受け、ニーズ調査をしっかりといただければと思います。

長尾君の会社が東海大学の寮で被災した学生3名を預かることになったそうですが、寮の倒壊で衣類など何も無い状態とのことでした。それで我々の方から靴から、下着含め着替えを準備してあげることにしました。

私は今日は一日仕事があり10時ごろ最寄りの駅へ行ったら、7~8名の学生が震災募金をしていました。急いでいたので、どこの大学か見ないで募金だけ入れて電車に乗り、5時近く戻った時にも、まだ募金をしていました。福岡市の大橋駅付近には大学、短大、専門学校がたくさんあるので、地元の大学と思っていたら、何と熊本大学でした。長時間頑張っただけ募金している姿を見て、また募金をしましたが募金箱が透明だったので中身が見えました。おれがたくさん入っていました。勿論、私もおれを入れましたが、福岡市民の熱い思いも感じ嬉しくなりました。頑張れ熊本！！



4月27日 活動報告

本日 COMMUNE6 来客は19名でした。昨日依頼していたブルーシートが届きました。早くても30日と聞いていましたが、天候を気遣い運送会社も優先的に早く届けてくれたのではないのでしょうか。送り主はエクスプレス便で送ったが30日になると聞いていたので驚いていました。また、局長のお兄さんから大牟田まで届いていた水も長尾君が全部運び込みました。

COMMUNE6 の支援物資置き場はブルーシートと水で満杯です。長尾君、安藤君お疲れ様でした。ほか、昨日の東海大生の長靴を森君の会社が提供してくださいました。熊本在住の同志会の皆さま様々なサポートありがとうございました。

また、水俣 Hub-Power の諸橋さんのつながりで北海道の佐山廣和様水俣の天野製茶園天野様、東京の高橋直規様からも支援物資が届いたと報告受けました。諸橋さん佐山様、天野様、高橋様ありがとうございました。

4月28日 活動報告

COMMUNE6 来客は12名でした。COMMUNE6 の支援物資置き場は他の支援団体からも物資を預かり満杯になりました。昨日届いた、大量の水とブルーシートは外に出しました。今後とも地道に支援活動続けます。

写真は今日の COMMUNE6 の支援物資の状況です。

今日は南阿蘇へ長崎県波佐見町の方々からお預かりした、寝袋やマット、紙コップ、紙の皿 etc.を運びました。福岡から植木インターで降り熊本空港方面へ行き、グリーンロード南阿蘇を通り南阿蘇につきました。途中霧がひどく視界が悪いこともありましたが、霧が少しずつ晴れ新緑に包まれた美しい景色がと現れました。とても美しい景色でした。大きな岩石が道路わきに転がったりして、地震の爪痕もたくさん見ましたが、やっぱり阿蘇は美しいところです。阿蘇大橋の崩落で、とても不便ですがグリーンロード南阿蘇から見た景色は感動しました。

県道28号線沿いの道の駅にも今日から野菜が出ていました。またいくつかのレストランも今日から再開したとのこと、南阿蘇の皆さんは頑張っておられました。また自衛隊の皆様も落石の危険個所の警備など活動されていました。

我々は今後ともこの地域の皆様の支援を続けます。





4月29日 活動報告

本日は COMMUNE6 へ鹿児島島のヴォアラ珈琲さんから支援！大量の DRIP BAG を寄付いただきました。ご来店いただいたお客様に無料でご家族の人数分お渡ししました。

また、先日ブルーシートを提供して下さった会社の福岡支社長が今後の支援について、必要な物資の聞き取りに来て下さいました。ご支援下さる皆さま本当に有難うございます。

安藤君は午後5時以降店を閉め御船町の公民館に避難されている方々へ水、キッチンペーパー、トイレペーパー、米などを届けました。

連休中に益城町のある自治会と話し合い、皆さんを元気づける夏祭りの企画を進めていました。自治会長はじめ多くの方は賛成でしたが、一部住民の方からこのような時期に開催するのは反対との意見が出され、残念ながら開催できなくなりました。また、少し時間がたって落ち着いたころ、この企画ができればいいと考えています。



4月30日 活動報告

COMMUNE6 来客は 18 名でした。明日は店休日です。

安藤君は今日もカフェ閉店後、益城町辻の城方面へ2度目の支援物資を届きました(写真)。

リクエストも赤ちゃんの哺乳瓶やお茶葉、掃除機のフィルターなど、今までと少し変わりつつあります。

九州自動車道、九州新幹線が全線開通となり、滞っていた物流も流れ出し、緊急災害支援から災害復興支援へと活動が変化していきそうです。今後は被災された方々を元気づける復興イベントなどを計画中です。


しかし、まだまだ支援を求めている人々がいるので、活動は続きます。



平成 28 年 5 月 1 日 活動報告

本日の活動はお休みしました。

4月14日の地震発生直後、ロサンゼルス新撰組局長であり、まごころ募金の代表である重田光康氏から、熊本に住んでいる仲間の安否確認と、熊本の役に立ちたいと相談を受けました。そこで、ロサンゼルス新撰組OBと新撰組同志会のメンバーに連絡を取り、そのときのメンバーが中心になり「熊本まごころ同志会」を立ち上げ今日まで活動してきました。...





Kumamoto & Ecuador Earthquake Disaster Relief Campaign
熊本・エクアドル地震救援キャンペーン

As of today (Monday April 25th) until Monday May 9th 2016, Shin-Sen-Gumi will be counting the amount of customers eating at our restaurant. We will be taking some of our profits to help and aid by donating to the victims who are being affected by earthquake in Kumamoto & Ecuador.
After we calculate the amount being donated, we will relay the information to our customers.
Thank you for your consideration and cooperation.
Please keep praying for the well being of Kumamoto & Ecuador.

新撰組グループでは、本日4月25日(月)より5月9日(月)までに新撰組系列店へ来店いただきましたお客様の人数をカウントし、その総数に応じて独自の計算法で算出した金額を、売上の中から義捐金として熊本とエクアドルの地震被災者の方々へお送りします。募金額の集計や募金先は、後日各店舗にてご報告いたします。

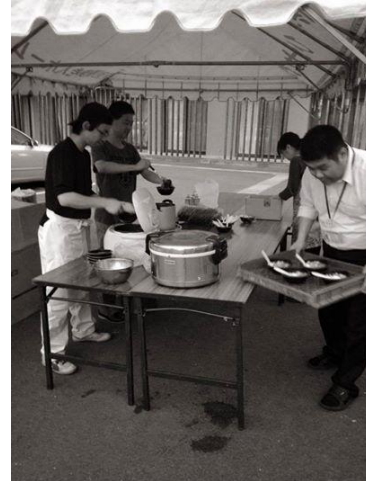
熊本とエクアドルが1日も早く震災の被害から復興できるよう、皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



平成 28 年 5 月 2 日 活動報告

COMMUNE6 へのお客様は 11 名でした。

緊急支援の物資に対するニーズは減少しました。これからは、復興支援活動が本格的に始動します。第一歩は安藤君中心に双方向型復興イベントとして 5 月 7 日にあじさい祭り(仮)を予定しています。あくまでも被災者自らが、お互いを励ますイベントなので、我々は後方支援に徹します。なお、安藤君は夕方から益城町の指定外避難所で150名分の炊き出し出張を、タッチラグビー日本代表他から支援してもらった物資で行いました。写真は双方向型復興イベントのイメージ図と開催予定地と炊き出し風景です。



平成28年5月3日 活動報告

COMMUNE 6 への来店者数は 19 人でした。

九州は暴風雨の荒れた天候で、被災された皆様にはつらい雨でした。また、被災された皆様には不安な毎日に加え、9 日からの学校再開に向けて、避難所の移動なども進められ一層不安も高まり精神的につらい毎日です。

我々のメンバーも皆さんが被災者です。

今日はロサンゼルス新選組の重田局長から、メンバー皆さんの安否確認と被災された皆様の状況に関し電話がありました。遠く離れたアメリカから復興を応援していますとメッセージをいただきました。

今週末の開催予定のイベントへの関心が高く、参加者が予想の 2 倍になりそうとの報告。復興に向け、被災された自営業の方々に元気を与えられれば、何よりです。

募金は多くの皆様にご支援賜り、順調に集まっております。後日内容についてはご報告いたします。なお、今後ともよろしくお願い申し上げます。

改めて感謝申し上げます。

平成 28 年 5 月 4 日 活動報告

COMMUNE6 への来客数は 16 名でした。

本日は安藤君の呼びかけで BBQ をしました。被災し、がれきなどの後片付けで疲れた皆さんの活力補給ができました。今後、熊本の街を復興するためには、前向きに頑張る人の絆が大切です。今日はその一歩としてこの場を設けましたが、参加された 28 名は皆さん笑顔で前向きだったそうです。

安藤君は夕方から泉ヶ丘小学校の避難所へ炊き出し 160 食を持って行きました。皆さん喜んで下さったそうです。炊き出しのボランティアとして 8 名の方が協力してくださいました。皆さん被災者です。

また、下城さんは復興に貢献するため、売り上げ 40% を県の儀損金口座に送金する、クマモン寄付金付きグッズを企画し、クマモンのピンバッジとストラップを制作されました。

今日も震度 4 クラスの余震が 4、5 回あり不安な毎日ですが、多くの方が前向きに頑張ろうと行動を開始されています。

今後とも我々は支援します。



平成 28 年 5 月 6 日 活動報告

COMMUNE6 への来客は 11 名でした。

支援物資のニーズは、ほとんどなくなりました。この連休中で破損した物や倒れた家具などの片付け作業は進んでも、これから先の生活や仕事などに対する不安を抱えた方がたくさんいらっしゃいます。こんな時だからこそ、「赤ちゃんから高齢者までが一緒になって参加でき、来られた方に笑顔が生まれるような温かい雰囲気夏の祭りの開催」を趣旨として、安藤君がかかわっている「双方向型復興イベント実行委員会」主催で「第一回あじさい祭り」が明日 5 月 7 日 土曜日に開催される運びとなりました。我々はあくまでも、下支え的な存在として応援をしたいと考えています。

主催者スタッフの皆さんは、お忙しい中準備をされていますが、お祭りに必要な物がない状態です。そこで、本日は簡易折りたたみ式の机、ゴミ箱、ゴミ袋、キッチンペーパー、ハンドタオルなど共通に必要な物資の買い出しをして、4 回目の熊本入りをしました。

今日 COMMUNE6 で明日の準備をされていた方は、熊本でも名の知れた食事処の料理人さんでした。明日のお祭りに出展される方々はその道のベテラン揃いです。何か動き出そうとすると、口を挟む人がいます。でも、今の状況下において勇気をもって進みだす人は、とても貴重な人たちです。心から応援したいと考えています。この活動は熊本が本格的に復興するまで定期的に行われます。

長い期間の支援が必要です。今後とも皆様のご支援をお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行、店名 0ー八

店番: 018、普通口座: 4007343

口座名義: 新撰組同志会まごころ募金

双方向型復興イベント

あじさい祭

赤ちゃんから高齢者までが一層になって参加でき、来られた方に笑顔が生まれ、同時に被災した事業主さんも支援できる温かい雰囲気の中、双方向型の復興イベントです。

平成28年
5/7 土 **スタート!**
 毎週土曜日 18:00~20:30 開催
 ※雨天予報時は中止
 イベント会場 あじさい幼稚・保育園
 〒861-2231 熊本県上益城郡益城町安永447-6

<タイムテーブル>	<出展内容>
・17時~ 準備設営開始	・炊き出しカレー
・18時~ お祭開始	・コーヒー
・20時~ 片付け開始	・ヘアカット
・20時半 終了	・キッズスペース
	・手作りかき氷

がまだせ熊本!
※出展内容は毎回変わります。

<主催> 双方向型復興イベント実行委員会



平成28年5月7日 活動報告

COMMUNE6 への来客数は13名でした。

なお、8日~15日の間 COMMUNE6 はお休みします。

我々が支援している「あじさい祭」第一回が開催されました。

まだ、機材や環境がそろわない中、食べ物だけの屋台形式でなく、双方向型復興イベントとして個人事業者が自分の技術を発揮し、地域住民の方々を励ます形でのお祭りでした。

炊き出しとして無料でカレーを提供した以外は、それぞれ安い代金を取ってのサービスでした。写真を見る限り皆さんの笑顔が印象的です！

参加された個人事業主は

- コーヒー(¥200) ○ヘアカット(¥500~) ○キッズスペース 手作りかき氷(¥100~) ○ハンドケア 10分(500円) ○フットケア 15分(800円)
- キッズネイル(¥300)、大人マニキュア(¥500)、爪ヤスリ&表面磨き(¥500)、割れた爪のお直し(¥500) ○お抹茶(¥300) ○整体 20分(¥500) ○ドリンク提供 アルコール(¥400)、ソフトドリンク(¥200) ○耳ツボマッサージ(¥500) ○SWEETS(¥350~400) ○からあげ&フライドポテト(¥200) ○母の日の手作りメッセージカード(¥50)

1回目としてはたくさんの個人事業主が参加されました。まだまだ余震が多く皆様も大変な状況下、本当にお疲れ様でした。

また、ボランティアでご協力してくださいました皆様有難うございました。

また会場を提供してくださいました「あじさい幼稚・保育園」の皆さま本当に有難うございました。

予定としては毎週末、雨天以外は開催する予定です。熊本が復興する日まで継続されます。

今後とも皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。



平成 28 年 5 月 8 日 活動報告

COMMUNE6 今週いっぱいお休みです。

7 日に開催されました「あじさい祭」新聞で紹介されたようです...



平成28年5月11日～14日 活動報告

COMMUNE6(1円～コーヒー)は16日から平常通りで営業します。

第二回「あじさい祭り」は新しい看板もできました。「二回目で来られる方も増えて少しずつお祭りの雰囲気が出始めてきたと感じます」と報告がありました。

11日から14日までの報告(長文です)

熊本地震発生後1か月経ち支援物資のお届けは、ほとんどなくなりましたが南阿蘇方面は大動脈が通行止めで、新鮮な野菜や果物などはなかなか届きません。

11日(水)～14日(土)南阿蘇へ新鮮な野菜と果物、作業服、洗剤、シャンプーなどをお届けし、12日から高砂春美氏主宰の南阿蘇復興支援センター(よろず相談室)で活動しました。

高砂氏は震災直後から南阿蘇に入られ、おにぎりなどの差し入れをいち早く開始されました。ボランティアコーディネーターとして、行政の行き届かない作業や被災者からの相談受付など幅広く支援されています。

社会福祉協議会の南阿蘇ボランティアセンターは熊本県以外からの参加者は断っており、ここに集う方々は県外からの方々ばかりでした。

12日は支援物資を受取、搬送する作業の後、土石流現場や翌日から活動する予定の、リゾートタウンへ行き下見をしました。美しい洋風リゾートタウンが壊滅状態でした。

一般のボランティアが入らないような場所で、被害が大きな場所でした。この日一緒に行動した松本さんは大阪からワゴン車で駆けつけた35歳の若者で、一般社団法人BIGUP石巻で長年ボランティアを継続して支援しています。石巻でも、ボランティアリーダーとして活躍している人物で、とても頼もしい人でした。

13日は我々と松本さんと東京から車で駆けつけた杉山さん、大阪から見えた細見さんと5人での活動でしたが、皆さん各地でボランティア活動の組織に属されていて、次に続くボランティア派遣の先遣隊として見えた方ばかりです。

13日の作業は、リゾートタウンのがれきを車で搬出する班と高齢(86歳)のお宅で半壊状態のお宅からご夫婦の大切な財産を搬出する仕事に分かれ作業しました。

私は杉山さんと細見さんと3人(全員60歳以上)で搬出作業をしました。大きなお宅で、家具やタンスが倒れ絡まり、揺れの激しさを痛感しました。搬出する量も多く思い出一杯のものばかりです。ご夫婦は我々に気遣い全部捨てかまわないとおっしゃいましたが、大切な思い出の品物ばかりだったので、いろいろな物と迷われているものと二種類に分別することにしました。この日だけでは全部搬出できませんでしたが、大切なものを納屋へしまうことができました。ガラスの破片と壁が崩落しているので、安全靴と皮の手袋、ヘルメットは必需品です。ご夫婦は避難所で生活されていて、避難所までお送りしましたが、お風呂はいまだに自衛隊が設営している簡易風呂です。食事もおにぎりだったが、今日からお弁当になったと喜んでおられました。南阿蘇地区ではおにぎりやお弁当のように加工したものを持ち込みはいいのですが、公的な場所への炊き出しができず、あたたかな食べ物の支援ができにくい場所です。

14日は南阿蘇の道の駅「あじわい館」で経済支援のため、この地方で生産されたものを購入しました。その後、益城町で毎週末開催している「あじさい祭」の準備手伝いとお祭りで使う装備が不足しており、テーブルやリール型の延長ケーブル、無線機などの買い出しをして益城町のお祭り会場まで行きました。街並の家屋すべてが被災されていて、全壊状態の建物がたくさんあり、一か月たった今もそのままの状態でした。

お祭り会場となっている「あじさい幼稚・保育園」の周りは半壊以上の建物ばかりの場所です。

お祭りの準備には10名ほどの若者が集まりテントはりなどできばきとしていました。

第二回のお祭りも人が増えたとの報告です。

1か月経ち被災された多くの方々は精神的に大きなダメージがあり、仕事や住宅の建て替えなど、経済的な不安とまだ続く余震などでつらい毎日を送られています。

我々同志会の支援は双方向型復興イベントのお祭りを通し、支援を継続します。

また、ボランティアが不足している地域へ、交通費の支援などを通し人の派遣も必要と考えています。



平成 28 年 5 月 14 追加活動報告

前回の募金者に追加します。

アラキ様、コバヤシ様、タカセ様、他 無記名希望者様 募金有難うございました。...

[もっと見る](#)

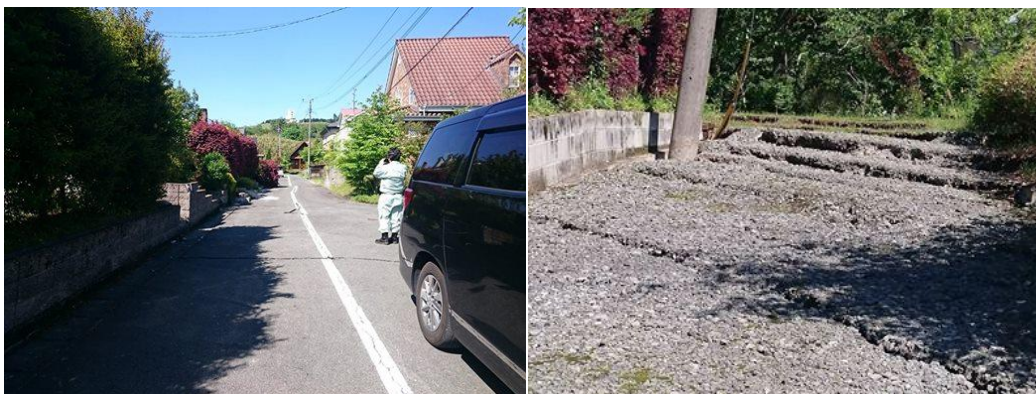
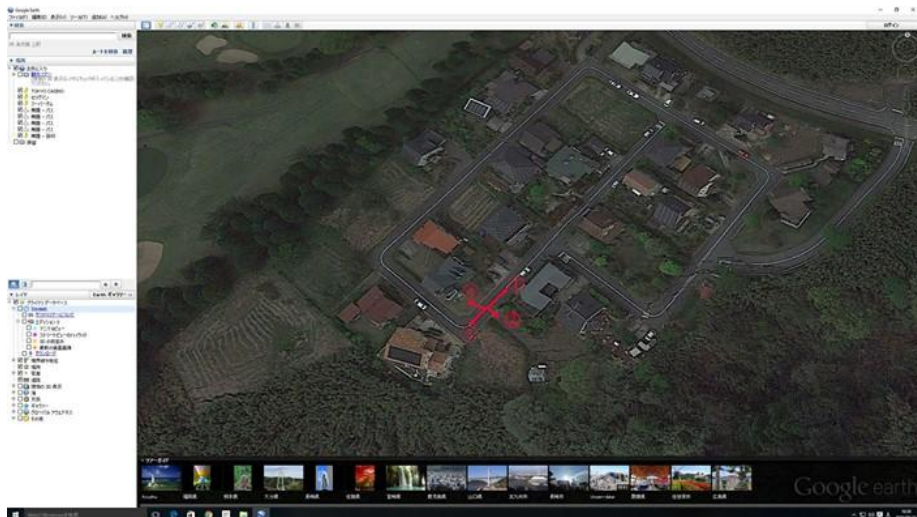


2016年5月16日

Google Earth で熊本を見ると被災後すぐの画像になっています。まだ、ブルーシートも張られていない状態です。先日活動した南阿蘇を見ると、いたるところに地割れが見えます。

土石流近くのビニールハウスで作業されていたご夫婦がいましたが、そのビニールハウスは3分の2は土石流に覆われていることが分かります。

東急カントリータウン阿蘇の状況も上空から見ると地割れの方向などよくわかります。



2016年5月20日

熊本 益城町の安永という地域の方をメイン対象とした双方向型復興自立支援イベントを「あじさい保育園」にて毎週土曜日の夕方に開催しています。震源地に近くとも被害の大きい地区の一つで、現時点ではまだ水もきていない状態です。この地域に更なる活気を取り戻す為、このイベントの運営実行委員・運営補助ボランティア・エンジニアについて単発でボランティアしていただける方を長期継続的に熊本全域から募集します！（スタッフ用駐車場あり）自分の都合にあわせて無理なく参加したいときだけ参加できる仕組みになっています。

下記の条件で責任もって行動できる方はコメント or 直接私にメッセージで希望のポジションをお知らせ下さい。ご質問も遠慮なくどうぞ。報酬はイベント参加者の「笑顔」です^^

双方向型復興自立支援イベント

あじさい祭

赤ちゃんから高齢者までが一緒になって参加でき、乗られた方に笑顔が生まれ、同時に被災した事業主さんも支援できる温かい雰囲気の良い双方向型復興イベントです。

毎週土曜日!

17:00~19:30 開催

※熊本市相持は中止

イベント会場 あじさい保育園園庭
〒861-2231 熊本県上益城郡益城町安永447-6

<タイムテーブル>	<出店内容>
・16時~ 準備設置開始	・YO~吹き出し
・17時~ お祭開始	・コーヒー
・18時~ 片付け開始	・ハンカチ
・19時半 終了	・キッズスペース・ジュース&ビール
	・無料物販配布
	・他多数...

※出店内容は変更されます。
※一部無料の出店ブースもございますが基本的に有料で被災事業主さんへ支援します

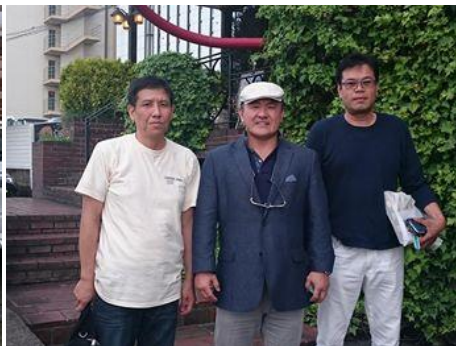
<主催> 双方向型復興自立支援イベント実行委員会





平成 28 年 5 月 25 日 活動報告

ロサンゼルスからロサンゼルス新撰組グループ局長であり、まごころ募金代表の重田代表が来日し、熊本入りしました。自らも被災し熊本まごころ同志会として活動しているメンバーを慰問し激励しました。



2016年6月3日

活動報告

COMMUNE6は6月1日から、営業を再開しました。

ただし、今まで通り支援物資の保管や情報交換場所としての役割はそのままです。

6月4日第5回「あじさい祭」は夕方の降雨確率が80%であるため中止になりました。

次回は6月11日になります。今後とも、まごころ募金は支援を続けます。

前回募金者の紹介後、さらに次の方々から募金をお預かりしました。

鹿児島のカワムラ様、武蔵川部屋のトクナガ様、マキオドライビングスクールのマキオ様、

アメリカ合衆国ロサンゼルス市のロサンゼルス新撰組グループ様

お祭りで集まった義援金や外国からの募金など多くの方々から、お預かりしました。

改めて感謝申し上げます。まだまだ、被災地での支援活動は必要です。今後とも皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

双方向型復興自立支援イベント

あじさい祭

赤ちゃんから高齢者までが一緒になって参加でき、来られた方に笑顔が生まれ、同時に被災した事業主さんも支援できる温かい雰囲気のある双方向型復興イベントです。

毎週**土曜日!**

17:00~19:30 開催

※雨天予報時は中止

イベント会場 **あじさい保育園庭**
〒861-2231 熊本県上益城郡益城町安永447-6

<タイムテーブル>	<出店内容>	
・16時~ 準備設営開始	・VO~炊き出し	・整体&マッサージ
・17時~ お祭開始	・コーヒー	・手作りかき氷
・19時~ 片付け開始	・ヘアカット	・新鮮野菜
・19時半 終了	・キッズスペース	・ジュース&ビール
	・無料物資配布	他多数...

※出店内容は毎回変わります。
※一部無料の出店ブースもございますが基本的に安い有料で被災事業主さんを支援します

<主催> 双方向型復興自立支援イベント実行委員会

2016年6月12日

熊本まごころ同志会 活動報告

熊本県益城町の「あじさい保育園」内で毎週末開催されている、双方向型復興自立支援イベント実行委員会主催の「あじさい祭り」へ6月11日ボランティア参加しました。日本財団調べで益城町の被災状況は半壊以上が54%、うち避難所以外で生活されている率44%とのことでしたが、あじさい保育園の周りはほとんどの家屋が被災され、2か月たった今もほとんど片付いていません。そのような中でのお祭りは主催者の企画もよく、ボランティアの皆さんの素晴らしい活躍で、子供たちのはしゃぐ声であふれていました。

若い親子連れが多く、子供が喜ぶ姿を見て、お父さんやお母さんの微笑みが印象的でした。

駐車場の整備を担当し、会場案内をしているときご年配のご婦人が通りかけられ、何があるのか尋ねられたので、ご案内しました。しばらくして戻ってこられるときは笑顔でした。子供の笑顔は人の心を和ませる力があるんだと感じました。

このお祭り会場では支援物資の配給や炊き出しがありますが、この地域の方々にはまだまだ必要です。

この地域はまだ水回りの環境が完全でないのでキッチンペーパー、サランラップ、紙の皿や割りばし、ティッシュペーパーなど毎日使うものが不足しています。

また、これから暑くなり冷房施設もほとんど壊れ、これからの生活は益々大変です。また、蚊などもたくさん発生しています。

このような環境での企画継続は重要と考えます。我々の支援は継続して続けたいと思います。今後とも皆様からのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行、店名0一八

店番:018、普通口座:4007343

口座名義:新撰組

同志会

まごころ募金



2016年6月19日

新撰組同志会まごころ募金 活動報告

被害の甚大だった熊本県益城町の中心部の幼稚園で毎週開催しているあじさい祭。

COMMUNE6 という、地元の素敵なカフェのオーナーチャカさんの発案による双方向型復興イベントです。

出展側も参加者側も基本は地元の者同士、少し安く、少しお金を出して、無理なく継続的に続けていこうという手づくりな温かいお祭り。

今にも倒壊しそうなお家の並ぶ地域の夕暮れ時。

たくさんの子連れのママさんパパさんが遊びに来ていました。

子供の同士でおおはしぎで遊ぶ子供たちをホッと見守るパパさんママさんの姿が印象的でした。

今日はチャカさんの誕生日、サプライズのお祝いもありました。

新撰組 OB チャカさんに賛同してロサンゼルス新撰組まごころ同志会も応援しています。

川副先生、ありがとうございます。



双方向型復興自立支援イベント

あじさい祭

赤ちゃんから高齢者まで一緒に参加でき、来られた方に笑顔が生まれ、同時に被災した事業主さんも支援できる温かい雰囲気の中、双方向型復興イベントです。

毎週土曜日!

17:00~19:30 開催

※雨天予報時は中止

イベント会場 あじさい保育幼稚園
〒861-2231 熊本県上益城郡益城町安永447-6

<タイムテーブル>	<出店内容>
・16時～ 準備設置開始	・YQ～飲み出し
・17時～ お祭開始	・コーヒー
・19時～ 片付け開始	・ヘアカット
・19時半 終了	・キッズスペース・ジュース&ビール
	・無料物販配布
	・他多数...

※出店内容は毎週変わります。
※一部無料の出店ブースもございますが基本的に安い料で被災事業主さんへ支援します

<主催> 双方向型復興自立支援イベント実行委員会

新撰組同志会 まごころ募金

熊本まごころ同志会

平成28年6月15～18日活動報告

6月15日から18日まで、南阿蘇と益城町で活動しました。

今回は東日本大震災の被災地で2011年から長期間支援活動をしている新撰組同志会メンバーの関口雅代さん(まごころ同志会ホームページに活動記録あり)も参加しました。

南阿蘇は関口さんのお母さんの故郷であり、ご親戚も被災されました。東海大学の学生アパートが多く被災した黒川地区のご親戚のお宅は全壊です。このエリアは阿蘇大橋の近くでもあり、崩落した橋のそばまで行きました。風の音だけが聞こえ大自然の脅威を改めて感じました。報道の映像では伝わらない規模の大きさと周りの地割れの数々、大地のゆがみがいたるところに見え、その上に立っていた家屋のほとんどが倒壊していました。

2か月たった今もほとんど変わっていない状況に胸の痛みを強く感じました。

被災されたお宅のから家財道具を運び出す作業のお手伝いをしました。家の中にあるものすべてが財産です。しかし、すべてを完全な状態で出し保存する場所もなく、思い出があっても処分を選択されるケースもあります。学生さんのアパートを経営されていたお宅は自分たちの財産よりも、学生さんたちの財産を残っていた倉庫に大切に保管されていました。この2か月毎日避難所から片付けに見えているそうです。本来とてもお疲れだと思いますが、気丈に頑張っておられました。しかし、体重はかなり落ちられたそうです。

阿蘇と熊本を結ぶ大動脈がたたれ、観光客が激減し、ペンションやレストランの経営をされている皆様は本当に大変な状況です。関口さんの従妹でそば処の久木野庵を経営されている浅尾さんも、お客が来ないのであれば、そばセットとして全国の皆様に通販でお届けするプランなどを企画され、自ら復興に向け前向きに立ち上がろうと頑張っておられます。

晴れた18日はとても美しい阿蘇の景色がまぶしく輝いていました。

阿蘇は本当に大自然が雄大で美しいところです。多くの皆様に阿蘇地方へ観光客として訪れていただくことで被災地復興のお役に立ちます。是非皆さま阿蘇へ行きましょう！

18日は午後から益城町の「あじさい祭」のお手伝いへ行きました。

毎回、出店数も増え来客数も増えています。お祭りの企画者である同志会メンバーの安藤栄君はリーダーとして信頼され、すばらしい行動力と企画力と人当たりの良さで多く賛同者が協力しています。19日が誕生日なのですが、スタッフの企画で彼の誕生日のお祝いをしました。この日はテレビ局からの取材も入っていました。

益城町は大変な状況が2か月ほとんど変わっていません。このお祭りで益城町に元気を取り戻すために彼らは頑張っています。

これからも、まだまだ熊本県、大分県そのほか九州の被災されて皆様を支援するために我々の活動は続けます。



新撰組同志会まごころ募金

熊本まごころ同志会の支援報告とお願い

熊本地震から早いもので3か月が経ちました。震度3～4の余震が続いていますが報道関係で紹介されることも少なくなり、世間では過去の出来事のようになっています。それに伴い募金も減少しています。被災された皆様にとっては、大変な日々が続いています。

まごころ募金から熊本地震に対する支援金はこの3か月で約116万円お預かりしました。

地震直後から緊急支援の活動資金として、多くの方々のお役に立つことができました。

心から感謝申し上げます。

支援金の支出内容は

緊急支援物資購入代として¥772,311

遠方から熊本へ緊急災害支援物資を届けに来たグループへ援助金として¥100,000

活動に伴う交通費（レンタカー、高速道路通行料、ガソリン代、その他）¥114,331

ボランティア支援金（熊本県外からボランティア活動に集まった人の宿泊費の一部負担や復興支援のための、お祭りで使用する資材などの購入費）¥245,159
です。

倒壊した家屋の状況は3か月前とあまり変化ありません。梅雨の大雨も重なり、南阿蘇方面で土砂災害も出ています。

公的なボランティアセンターは基本的に倒壊した危険な建物内部での作業をすることがなく、一番必要とされている壊れかけたお宅から大切なものを運び出す危険な個所の作業は、ほとんど民間のボランティア団体が活動しています。

しかし、多くの民間ボランティア団体は活動資金が足りなくて、必要な道具や資材も不足して困っています。

支援はまだまだ必要です。

被災された多くの方々はこのからの生活に対する不安をかかえ、つらい毎日を送られています。これからは心のケアを中心にした支援活動が本格的に必要となります。

益城町で同志会メンバーの安藤君が中心になって活動している、双方向型復興自立支援イベント「あじさい祭」は今まで9回開催し、地域の方々の週一度の楽しい場となって喜ばれています。

メンバーも増え、活発に活動しています。彼らは資金調達も自ら頑張っていますが、まだ支えが必要です。

また、夏休みに入り南阿蘇の子供たちを海の見える場所で、緊張した心を休ませてあげたいなど、企画はありますが資金が不足してきています。

崩壊家屋の片付けや引っ越しの手伝いなどのボランティア活動支援、音楽活動などによる心のケアのための活動支援など、まだまだ熊本・大分の震災地支援は必要です。

今後とも頑張っている方々の支えとして継続的に支援が必要です。

改めまして、今後とも皆様からのご支援を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新撰組同志会まごころ募金：

ゆうちょ銀行、店名0一八

店番：018、普通口座：4007343

口座名義：新撰組同志会まごころ募金

2016年9月25日

「あじさい祭り」の最終日と益城町の今

9月24日 まごころ募金が支援していました「あじさい祭り」の最終日でした。

震災後5か月以上がたちましたが、益城町の景色は震災直後からさほど変わっていません。少しずつ取り壊しや修理が始まっていますが、壊れたかけていた家屋は完全につぶれ、朽ち果てた状態になっています。

その中で復興を願い5月7日から毎週末の土曜日に開催されていた「あじさい祭」が今回は「あじさい祭 収穫祭」として最終回を迎えました。被災した益城の皆さんと店舗がなくなった事業主さんが双方向型復興自立支援のお祭りでしたが、5か月たち事業主さんたちも再建に向かい仕事復帰のめども立ち始めたこともあり、この日が最終日となりました。このお祭りが終わると言うことは少しずつ再建が進んでいることであり嬉しいことです。そこで収穫祭と銘打ってファイナルを迎えましたが、たくさんの方が参加されとても賑やかなファイナルとなりました。このお祭りを企画しリーダーとして頑張った安藤栄くん本当にお疲れ様でした。

